

令和8年度第2回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和8年6月15日（月）立川市役所 202 会議室		
出席委員氏名	小畑徳彦 委員長、加藤正太 委員、小林大祐 委員		
審議対象期間	令和8年1月1日～令和8年3月31日		
抽出案件	工事 0件 委託 40件 総件数 40件	（備考）	
うち一般競争入札	工事 0件 委託 23件 総件数 23件		
うち特命随意契約	工事 0件 委託 17件 総件数 17件		
次 第			
1 委員長あいさつ			
2 議事			
(1) 審議			
ア 令和7年度委託契約抽出案件について（令和8年1月1日～令和8年3月31日）			
(2) 報 告			
ア 令和7年度委託契約の状況について			
イ 委託契約の推移（令和3年度～令和7年度）について			
ウ 令和7年度委託等契約長期継続契約について			
エ 令和7年度プロポーザル方式による契約案件について			
オ 令和7年度変動型最低制限価格（委託等）について			
3 その他			
(1) 令和7年度第6回入札等監視委員会 質問事項の回答			
委員からの意見、質問及びそれに対する回答			
意見・質問		回 答	
1 委員長あいさつ			
2 議事			
(1) 審 議			
ア 令和7年度委託契約抽出 案件について (令和8年1月1日から 令8年3月31日まで)		・対象期間に入札された、総価契約（以下、総価）・ 一般競争入札（以下、競争）の委託契約について、 説明した。 ・総価・競争の契約件数は 23 件、平均参加者数は 4.3 社、単純平均落札率は 70.22%だった。 ・変動型最低制限価格は対象の 14 件中 5 件が算定 で9件が未算定、算定率は 35.7%であった。地域 要件は市内2件、都内案件は 21 件。受注所在地 の市内受注率は 13.0%だった。くじ引きになった のは0件だった	
*無効（その他）があるが、審査は事 前に行うのか。		・開札してから審査になる。	

*総価・競争のうち落札率がかなり低いものがあるが予定価格は適切だったのか。	・「事後審査による」の2件は条件が満たせなかったものである。 ・「入札参加資格なし」の1件は申し込みをした時点では資格があったが開札時に切れていたため失格になった。 ・見積りを取って予定価格を立てたが他者が落札したり、見積りを出す業者が少なかったが複数の入札参加があったりして結果低くなった。低価格調査も行っており適正と判断している。 ・落札額3千万円以上の高落札額契約は0件だった。 ・落札率95%以上の総価・競争分の4件について説明した。 「社会教育施設照明設備改修工事設計委託（複数年）」、「スポーツ施設照明設備改修工事設計委託（複数年）」、「全国瞬時警報システム受信機更新委託（複数年）」、「第12次立川市交通安全計画策定支援業務委託（複数年）」。 ・総価・特命随意契約（以下、特命）21件のうち17件について説明した。 「財務会計システム改修委託（少額随契等基準改定対応ほか）」、「立川市防犯カメラ交換業務委託」、「航空機騒音観測装置等機器移設委託」、「令和7年度立川市市民生活支援給付金給付事業に係る業務委託（複数年）」、「戸籍システム受附帳イメージ管理ソフト導入業務委託」、「住民情報システム改修委託（令和7年度物価高対応子育て応援手当関連）」、「住民情報システム改修委託（特徴のしおり変更に伴うプログラム修正及び仕様変更）」、「立川市住民情報システム共同利用サービス提供業務（帳票・封筒の標準化対応）」、「介護報酬改定等に伴うシステム改修委託（令和7年度合計所得金額の判定他）」、「立川競輪場投票系・情報系ネットワーク機器更新委託」、「災害対策用ライブカメラハードディスクレコーダー等更新委託（複数年）」、「立川市リモート相談システム構築委託（複数年）」、「立川市住民情報システム共同利用サービス提供業務（その10）」、「立川
--	--

＊「財務会計システム改修委託（少額随契等基準改定対応ほか）」について、20年以上前に構築したシステムを改修しながら使ってずっとロックインされていくのは適当なのか、検討した方がいいのではないか。 (2) 報告 ア 令和7年度委託契約の状況について イ 委託契約の推移（令和3年度～令和7年度）について ウ 令和7年度委託等契約長期継続契約一覧について エ 令和7年度プロポーザル方式による契約案件一覧について オ 令和7年度変動型最低制限価格（委託等）について	市砂川学習館 Wi-Fi 環境構築委託」、「地域系防災行政無線再免許申請業務」、「学校給食費収納管理システム改修委託（標準化に伴う学齢簿連携対応）」、「本庁舎執務室環境整備計画策定等委託（モデルオフィス整備）（複数年）」。 ・財務会計システムは令和9年1月1日から新しくなるが新システムも同じ事業者のものである。検査システムがついている財務会計システムはあまりなく、近隣市も使っている。これまで改修を重ねて事務に合わせた形になっている。先に、新システムは決まっていたので新たにという訳にいかない。 ・令和7年度の委託等契約状況について説明する。 ・契約件数は、令和7年度は558件で、総価競争は224件、総価特命が220件、単価競争が50件、単価特命は64件。賃貸業務の総価競争は23件、総価特命が8件、これを含めると全部で589件。 ・令和3年度から令和7年度までの委託契約推移について説明する。 ・長期継続契約は40件、新規は競争が18件、特命が5件。平均参加者数は2.4者だった。 ・全7件のうち価格考慮型が4件、非価格考慮型が3件だった。 ・実施要綱・審査結果等・特命理由書で説明。 ・プロポーザル方式の採用には庁内組織の競争入札参加資格審査委員会に実施の可否を諮っている。 ・実施件数は67件、平均落札率は75.56%、最低制限価格以下で無効は28件で41.8%者数としては48者が無効で、ダンピングの抑止になっている。 ・変動型の掛け率が準備行為は85%、4月1日から90%に変更している。変動型最低制限価格未満で無効が多い業種は、道路公園管理が7件、建築土木設計が5件だった。
--	---

*変動型最低制限価格を適用しても低入札になっているものもあり、委託の場合予定価格を見積りに頼らざるを得なく、それが正しいのか判断は難しい。 *低入札のものの工賃はきちんと払われているか見ているのか。 3 その他 (1) 令和7年度第6回入札等監視委員会 質問事項の回答。 (3) その他	・委託は見積りと積算のものがある。 ・最低賃金は守られているようだが、公契約の対象になるものもあるので今後どう変わっていくかまたお知らせしていきたい。 ・「戸籍振り仮名の法改正に伴う通知書作成業務委託」、「戸籍情報システム改修業務委託（振り仮名職権記載機能）」について。 ・戸籍に記載されている漢字には多種多様な異字体が存在し、市民の氏名という極めてデリケートな情報を扱う特性上文字化け等の重大な瑕疵は許されない。現在使用しているフォントの膨大な数の文字コードを全国的に統一することは難しくどの業者も使用できるように汎用化するのは不可能である。 ・次回の開催は令和8年10月6日(月)午前9時30分以上
--	---